

テーマ：インプラント・クラウンブリッジにおけるデジタルツールの活用法  
～デジタルツールの使用で精度はあがるのか？～

鬼頭寛之

日常生活においてもデジタルは欠かせないツールとなり大きく支えられているのは言うまでもない。歯科においてもデジタルソリューションは私の知る限り20年近くは経過している。流れとしては歯科技工所がデジタルツールを導入し、昨今では歯科医院サイドもオーラルスキャナを導入する医院が増加傾向にある。当ラボにおいてもインプラント・クラウンブリッジにおいてデジタル印象採得が増えつつあり、通常のシリコン印象、またはアルジネート印象と比較してリスクが軽減する部分もあるが歯科医師と歯科技工士の共通の知識を怠ると治療の失敗を招くこととなる。デジタルツールを使用して、今まで主流となってきたアナログより精度を低下させるわけにはいかないため、今回はラボサイドからみるデジタルツールの活用法を私の臨床例を提示して先生方に紹介したい。